

栗原亮一 くりはら ひろいち 政論家、民権運動家、政治家。安政二年二月二十日志摩國生れ、明治四十四年三月十三日歿（八五—一九二）。舊姓中村。

號後築、東瀛僊吏、皆夢庵。上京して小松原英太郎と『草莽并雜誌』を創刊。板垣退助の志士社に入り、爾來側近として自由民権運動に参加し、明治十五年の外遊にも同行。清佛戦争では新聞記者として渡清。

二十年の保安條例で追放處分を受け、大阪の『東雲新聞』（中江兆民主筆）を創刊した。第一期衆議院議員（當選六八回）。四十一年白糖疑獄の連坐。漢詩、俳諧を能くした。

著書に、『自由黨板垣退助米渡遊日記』（明治十六年六月節岡國論輯出版）、松井忠兵衛刊）、『軍備論』（明治二十五年一月十日愛敬利世刊）、『第二十回議會報告書』（明治四十一年四月二十一日創刊）等。